

◆ 八王子都税事務所長賞 ◆

「助け合い、支え合い」

日野市立日野第四中学校 3年 高木 葉那

あたりまえの「日常」、それは何によって支えられているのだろう。

私は、よくニュースを見ている。その中で、国会議員の人たちが、私たち国民や日本の課題について話し合っているが、一番の課題であるのは、「税金」であり、それに対する国民の意識だと考える。私たちは、税金に対して、マイナスイメージを持ちがちであるが、道路、学校、普段飲む水道水、そんな一つ一つの暮らしを支える多くの物が税金によって作られている。税金を払うのは国民、その税金は、私たちお互いを助け合える一つの手であるのかもしれない。

ある時私の家族は、税金に助けられたことがある。それは、コロナウイルスが流行していた夏休みのときのことだ。兄は仕事で、私は部活に明け暮れていた日々に、突然、父がコロナウイルスにかかってしまった。その看病をしていた母もかかってしまった。私はとても悔しかった。コロナウイルスが流行していたために、部活の練習も試合も少ない形で行っていた。その発症日が私のひさしぶりの試合だった。試合は休み、外出も出来なく、食事に悩んでいた時に、政府のホームページで、行政サービスを見つけた。そこには、ご飯も、即席のみそ汁も飲み物も一週間足りる程のサービスを受け取り、使わせてもらった。もちろん、サービスは、税金によっての物だった。当時の私と家族は、とても助けられたことを覚えている。コロナウイルスのワクチン接種も、医療費も全て税金によって支えられ、私たちが助けられていた。このように周りの物は、政府が国民を思い、築りあげて守られている。コロナウイルスによって、マスク生活や消毒し続ける日々も、だんだんと改善しつつある。それは、私たちが手洗い、うがいや消毒を行った努力のおかげかもしれない。でも、税金によって状況が変化してきたのも、一つのきっかけかもしれない。こんな風に、税金の使い道は、星の数ほどある。そして、税金によって支えられているのも一つの事実だ。中学生の私にとっても、税金は私の未来を手助けしてくれる大切な手である。私たち国民は、一人一人が税金を払う義務があると同時に、税金は私たちが幸せに平和に日常を送れるようにしてくれるものでもある。もし、税金を払うことに抵抗があるのなら、身の回りを見てみるといい。税金が支えてくれる物が必ず一つはあるから。情報が早く回る社会になってきたからこそ、自分の意見や考えを発信してみることも一つの手である。自分から、税金の使い方への提案をすることも可能である。

一人一人の国民が、税金をただ払うだけでなく、意見や考えを持ち、伝えることができたなら、この国はもっとよりよい場所になる。あたりまえの日常は、税金が支えてくれている。そのことを頭のかたすみに、そっと入れておいてほしい。